

インクルーシブな社会の実現のために言語教育は何ができるか

外国語授業実践フォーラム第20回会合では、東京学芸大学の南浦涼介先生をお迎えし、インクルーシブな言語教育実践について参加者の皆様と一緒に考えたいと思います。

日時：2021年3月14日(日) 13:00~16:00 zoom開催(12:45より入室可)

参加費：無料

参加者：言語教育に関わるすべての方

【参加者のお申し込みについて】

参加者定員：50名

参加者申し込み：[ミーティング登録 - Zoom](#) (zoomのURLは申し込み後に自動送信されます)

13:00-13:05 開会のあいさつ・趣旨説明

13:05-14:05 基調講演「学校教育におけることばと社会のインクルーシブにおいて—外国につながる子どもたちとその教育の展望から」南浦涼介(東京学芸大学)

14:05-14:10 休憩

14:10-14:40 発表①「日本語教育はインクルージョンとどのように向き合ってきたか—学習者の多様化と多文化共生の間」古屋憲章(山梨学院大学)

14:40-15:10 発表②「わたしたちが好きな学習者像—各種スピーチコンテストの出場資格に見られる選好」山崎直樹(関西大学)

15:10-15:15 休憩

15:15-15:45 発表③「社会参加のための翻訳を通じた新たな学びの可能性」中川正臣(城西国際大学)・澤邊裕子(宮城学院女子大学)

15:45-16:00 全体振り返り
閉会のあいさつ

本会合は、日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)「日・中・韓三言語の連携による〈学習者が社会とつながる〉言語教育実践ガイドの開発」19K00917(研究代表者：澤邊裕子)、同基盤研究(C)「言語教育におけるインクルージョンを実現するための当事者駆動型言語学習環境設計」20K00777(研究代表者：植村麻紀子)の助成を受けています。